

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら原宿

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	0	・学習と運動の部屋等、部屋を壁で分け、集中しやすいよう工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	・人員配置を満たしている状況です。 ・シフトを決める際には、配置数を複数員で確認しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	3	・スタジオの入り口は狭く、また階段のみのため、必要に応じて保護者や子どもの対応をしています。 ・玄関のドアが重い為、職員が開閉を行うように工夫しています。 ・室内は段差がなく、バリアフリーを意識しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	8	0	0	・ケース会議以外にも、終礼時に子どもの様子等を共有し、常に振り返りをしています。 ・ケース会議等の日程を予め決め、その日はなるべく多くの職員が出動できるよう工夫をしています。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	・ソフト面に対しては、頂いた意見を取り入れて対応しています。 ・アンケートを電子媒体で答えられるようにし、簡単に回答できるよう工夫しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	・HPで公開しています。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	2	・外部評価は行っていませんが、社内でチェック機能を作り定期的に評価していきます。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	・社内研修を実施しています。 ・入職時には研修を実施していますが、その後も継続的な実施が出来るよう体制を整えていきます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・アセスメントに時間を多くとり、情報収集はスタッフで手分けをして行っています。 ・保護者とじっくり話せる時間を設けられるよう工夫していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	・社内共有のアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	・毎活動時、朝礼、昼礼、終礼を実施し話し合いて療育時の方向性を決めていきます。 ・プログラムごとに担当者を割り振り、話し合いながら行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	・学校体育や、あおぞら等、毎月あるプログラムは月ごとにテーマを決め、様々なことにチャレンジできるよう意識しています。 ・個別療育では、以前のプログラムを参照しながら、新しいプログラムも交えて取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	8	0	0	・長期休暇時等はイベントを多く設け、様々な事を経験できるよう工夫しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・基本的には個別療育を中心に行っています。 ・集団活動は、必要に応じて相談し、感染症対策を十分に配慮した上で行っています。 ・個別で身に付けたコミュニケーションスキルを小集団で実際に練習する場を設けるよう意識しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・打ち合わせ時に、当日だけではなく、前回の内容も合わせて共有するようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	0	0	・全員が発言できるよう、工夫しています。 ・朝礼・昼礼に手打ち合わせを行っており、日誌で休みのスタッフにも共有できるよう工夫しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	・記録の書き方について、必要に応じて指導しています。

関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	・過去の記録をもとにモニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	8	0	0	・『自立支援→スタジオ個別療育』『地域交流→あおぞら療育』『創作活動→イベント』『余暇の提供→イベント、あおぞら療育、スタジオ個別療育』と、それぞれニーズも考慮しながら提案しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	・必要に応じて児発管が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル対応）を適切に行っているか	7	1	0	・保護者に確認しながら適宜行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	1	・現在対象者は利用していません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	0	0	・保護者からのご要望がある時に実施しています。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	6	1	1	・対象児がいないため、直接連絡を取ったことはありませんが、就労支援部会と子ども部会が連携を図っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	0	・渋谷区児童発達支援・放課後等デイサービス等連絡会を月1回程度開催しています。リモートで集まり、他事業所と情報交換や研修を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	4	・感染症対策の為、例年行っているそらコンサートは実施できませんでした。今後も感染症対策を考慮し実施の有無を決定していきます。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	7	1	0	・渋谷区児童発達支援・放課後等デイサービス等連絡会を介して、子ども部会との連携を行い活動しています。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	・今後も気軽にお声がけいただけるような雰囲気をつくれるよう意識していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	6	1	1	・ペアレントトレーニングは事業所ごとで実施することは難しい為、事業所内で相談していただいた際に、提案できるような知識を増やすよう努めていきます。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	・契約時に説明をしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	・フィードバック時に伝えきれない場合は、電話でお話したり、後日面談を設定する等して話す機会を設けるようにしています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	3	・保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討していきます。 ・保護者同士の連携を望んでいない方もいるため積極的には行っていません。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	・苦情はありませんでしたが、苦情対応の体制を整えています。 ・ご意見・ご相談については迅速に対応していきます。
	㉞	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・HP上にそら通信として、定期的に情報発信しています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	・必要に応じて面談室を使用するなど場所の配慮を意識しています。 ・個人情報が書かれているものは鍵付きのキャビネットにて管理しています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	・今後も子どもの理解度に合わせた指示の仕方など配慮していきます。 ・また保護者の方には気軽に声をかけていただけるように普段からのコミュニケーションをとることも意識していきます。 ・手段や工夫の方法をより多く知れるよう研修を実施していきます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	0	・例年そらコンサートを実施、地域の方にも参加してもらおうにしていたのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、実施が難しい状況でした。 ・今後感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	・閲覧用マニュアルの設置を行うと共に、新型コロナウイルス感染症対策についても掲示し周知しています。 ・職員に対しては定期的に研修を行っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	・例年2回、訓練する日を設け訓練しています。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、例年通りの実施は難しい状況でしたが、今後も状況を踏まえながら実施を検討していきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	・定期的(年2回)に社内研修を実施し、理解を深めると共に注意喚起を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し理解を得たうえで計画に記載しているか	8	0	0	・対象になる利用者がいない為行なっていませんが、職員間でマニュアルの内容を共有しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	・基本的に食事提供などがいないため、イベント時、契約時などに保護者に確認しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	・ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。